

広報

湖と山と緑の大地が結び合い
元気をつくる交流のまち

とちぎ湖

絆強めて半世紀



—箱根町・洞爺湖町姉妹都市提携50周年記念式典—

主な内容

- 姉妹都市提携50周年記念式典… 2p
- 夏だ!!まつりだ!!雨ニモマケズ決行だ!!… 4p
- 役場からのお知らせ…………… 6p
- 地域からの声…………… 7p

8月
2014年
VOL. 101

築いた50年



洞爺湖町

姉妹都市提携50周年記念式典



昭和39年7月4日に洞爺湖畔で開催された姉妹都市提携記念式典

姉妹都市提携と交流

箱 根町と洞爺湖町が姉妹都市提携を締結して50年を迎え、7月26日洞爺湖文化センターで記念式典が開かれました。式典には、箱根町から参加の24人を含め約300人の町民が参加し、半世紀に及ぶ交流を振り返り、永遠の友情を誓い合いました。

両町が「芦ノ湖と富士山」、「洞爺湖と羊蹄山（蝦夷富士）」と景観がよく似ていて、観光の町であるという共通点から、昭和39年7月4日、湖水まつりで賑わう洞爺湖畔で姉妹都市提携の記念式典を行いました。

以降、行政や議会だけでなく、スポーツ少年団をはじめ自治会、婦人団体、商工会、老人クラブ連合会など幅広い階層にわたって交流を続けてきました。特に中学生の相互訪問は、提携直後の昭和41年の箱根町の中学生が虻田町を訪問したことがきっかけとなり、翌年から始まりました。この事業は、現在も絶えることなく継続していて、これまでに延べ1,000人近くの中学生が参加しています。2回の有珠山噴火においても、箱根町を挙げての支援を受け、2000年有珠山噴火では、1カ月にわたって箱根町職員

29名が派遣されました。こういった信頼関係の下、平成24年には、「大規模災害時等の相互応援協定」を締結し、信頼を揺るぎないものになりました。

50周年記念式典

式典では、「将来に向け、更に姉妹の絆を深め、子々孫々に継承していくことを誓う」とする宣誓書を、両町が交わし、箱根町からは寄木細工、洞爺湖町からはガラス製の工芸品が記念品として交換されました。

挨拶では、真屋町長が「半世紀の交流では、町内で行われた箱根大名行列が思い出深い。また有珠山噴火災害時では多くの支援に励まされた」と長い交流を振り返り、山口箱根町長は「交流の歴史は、貴重な財産となり、相互扶助の精神によって結びつけられていることを誇りに感じ」と交流の成果を述べました。

ビデオレターの上映では、中学生親善訪問参加者や2000年噴火の時の派遣職員などから

交流のあしあと

(概要)

- 昭和39年 姉妹町の提携・提携宣言式（於洞爺湖）
- 昭和41年 箱根町から中学生使節団
- 昭和42年 洞爺湖温泉開基50周年記念式典に箱根町長出席
- 中学生使節団相互訪問開始（現在まで継続）
- 昭和49年 提携10周年
- 昭和51年 第30回洞爺湖水まつりに箱根大名行列友情参加
- 箱根町制20周年記念式典に虻田町長、議会議員出席
- 昭和52年 有珠山噴火。被災した町を箱根町長、議長が見舞う
- 昭和55年 虻田町開基180周年記念式典に箱根町助役出席
- 昭和59年 姉妹提携20周年記念式典（箱根町で開催）
- 昭和61年 第40回洞爺湖水まつりに箱根大名行列友情参加
- 平成6年 姉妹提携30周年記念式典（虻



交流の輪 広く深く

箱根町



箱根町長
山口昇士

「洞爺湖畔にて姉妹都市の誓いを立ててから、早いもので半世紀の歳月が流れました。この間の両町の交流は、行政だけにとどまらず、両町民による自主的な交流が積極的に実践されてきました。

私たちの絆は、半世紀を経て、大樹が年輪を刻むように、今後さらに太く、強固になっていくものと確信しております」



洞爺湖町長
真屋敏春

「箱根町と虻田町との姉妹都市提携の式典が、洞爺湖畔において盛大に挙行されてから、早いもので50年の節目を迎えました。

半世紀の交流の中で、さまざま思い出を積み重ねて参りましたが、今後も、これまでの友好を振り返り、町のつながり、人のつながりを大切にしながら、多くの分野で永遠の友情が続くよう、更に努力して参りたいと思います」



記念品を山口町長(右)へ渡す真屋町長。洞爺湖町からは、箱根町との友情をイメージしたガラス製の工芸品を贈呈。コンセプトは「僕たちはいつも同じ月をみている」。



洞爺湖を見下ろす洞爺湖温泉公園で植樹する山口、真屋両町長。箱根町の町木ヤマザクラ3本を植樹しました。

お祝いのメッセージが寄せられ、式典を盛り上げました。
式典後には、洞爺湖見下ろす洞爺湖温泉公園で、箱根町の町木ヤマザクラ3本を両町長らが記念植樹しました。

その後会場を洞爺湖万世閣に移し、記念レセプションが開かれ、往年の話などで親睦を深めました。
このほか記念事業として、10月15日まで観光情報センター

(サミット記念館)で、箱根ジオパーク&洞爺湖有珠山ジオパーク展が開催され、物産展も両町で秋ごろに開催する予定となっています。

- 田町で開催)
- 第48回洞爺湖湖水まつりに箱根大名行列友情参加
- 平成12年 箱根町長・議長有珠山噴火見舞、現地調査
- 箱根町長・議長・副議長義捐金持参
- 箱根町より災害救護活動派遣29名(5月22日&6月21日)
- 対策本部、消防関係、建築技術関係、福祉関係の業務を3班で支援
- 平成15年 役場庁舎、消防庁舎、防災センター落成記念式典時箱根町長、議会議長出席
- 平成16年 姉妹提携40周年記念式典(箱根町で開催)
- 平成17年 「有珠山噴火5周年復興感謝祭inとうや湖」で箱根町から大名行列が11年ぶりに参加
- 平成18年 洞爺湖町開町式で姉妹都市宣言誓書に両町長が署名し提携を継続
- 平成24年 「大規模災害時等の相互応援協定」締結
- 平成25年 洞爺湖町から箱根駅伝出場23校にじゃがいも「とうや」寄贈
- 平成26年 姉妹都市提携50周年記念式典(洞爺湖町で開催)

雨ニモマケズ^ん決行だ!!



サマーフェスタ2014in洞爺湖

7月19日、サマーフェスタ2014in洞爺湖が、洞爺湖遊覧船乗り場前特設会場で、時折雨に見舞われる中で開かれました。

ステージでは、温中みずうみ太鼓、洞爺中吹奏楽、虻田中野七頭舞を踊る会が、演奏と舞踊を披露し、昨年に続いたの出演となった伊達時代村の忍者ショーやいろんなキャラクターが集めたアトラクションなどが行われ、子どもたちの目を釘付けにしました。

恒例となったマイムマイムでは、湖畔遊歩道で住民やホテル、飲食店関係者315名が大きな輪になって、「マイムマイム」の掛け声を湖に響かせました。



キャラクターも参加し盛り上がったマイムマイム



子ども達に大人気のキャラクターが大集合



子どもと遊ぶ伊達時代村の忍者ショー



迫力ある音を響かせた温中みずうみ太鼓



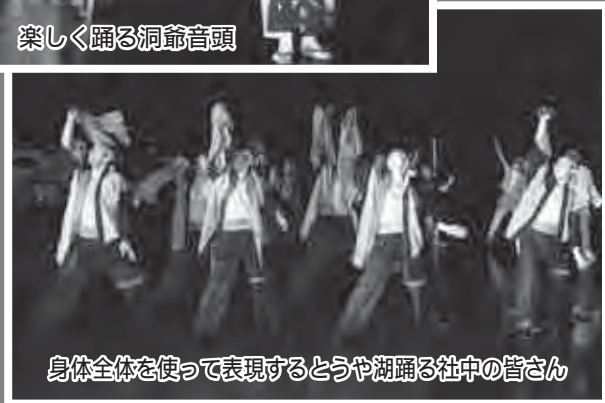
ビールもすすむビアガーデン



夏だ!!まつりだ!!



楽しく踊る洞爺音頭



身体全体を使って表現するとうや湖踊る社中の皆さん

洞爺夏まつり

7月26日洞爺夏まつりが、とうや水の駅を主会場に開かれました。あいにくの雨で、夕方のパレードは、距離を大幅に短縮して実施し、そのほかのアトラクションは、やり遂げました。スタートは、幼児たちが、羽織、袴で着飾り、メイン通りを練り歩く稚児行列。その後水の駅の広場で聖徳太子祭が挙行政され、地域の繁栄を関係者が祈願しました。

その後、ステージでは、洞爺中学校の吹奏楽演奏やカラオケ大会を実施。野菜の重さ当てコンテストやビンゴゲームも行われ、雨にもかかわらず、大いに盛り上がりました。夕方からは、太鼓台（ちょうさ）や洞爺音頭、とうや湖踊る社中によるYOSAKOI 踊りが披露され、恒例の餅まきでまつりのフィナーレを迎えました。



聴衆を魅了した洞爺中学校吹奏楽のアンサンブル



着飾って歩く稚児行列



メイン通りを練り歩く太鼓台（ちょうさ）

国民年金保険料は遅れずにきちんと納めましょう!

■問合せ
室蘭年金事務所
(お客様相談室)
☎0143-50-1004
住民課住民・戸籍
年金グループ
☎74-3002

国民年金は、老後やもしもの時にあなたの大きな支えとなります。保険料の納め忘れが続くと後に年金を受け取ることができなくなるばかりか、納付が遅れることで障害年金や遺族年金を受け取れない場合があります。

もしもの時に後悔することのないよう、保険料はきちんと納期内に納めましょう。

納期は翌月末で、2年経過すると時効により納められなくなります。

国民年金保険料の納付が

困難なときは……

国民年金には、以下の保険料納付が免除される制度や猶予される制度があります。



●納付が困難なときは……保険料免除制度

●30歳未満の方は……若年者納付猶予制度

●学生の方は……学生納付特例制度

納付が困難だからといってそのままにせず、ご相談ください。また、失業された方は、離職票や失業保険受給資格者証等を添付すれば、前年の所得に関係なく免除される特例もあります。

「架空請求」横行! 連絡は取らないで

■問合せ
産業振興課水産・
商工グループ
☎74-3005

全く身に覚えのない請求をしてくる架空請求のトラブルが5月頃からまた増え始めています。ご注意ください。

架空請求とは「国民消費相談センター」など公的機関と混同させるような名称を名乗り、はがきや封書に「内容確認通知書」などと記して公的な文書であるかのような印象を与えて送り付けてくる通知です。

「契約不履行で訴状を裁判所に申請しました。無視し続ける



と判決が下り、財産の差し押さえなどをされる場合があります。身に覚えがない場合は至急連絡ください。などと慌てさせ、まず電話で連絡を取らせようとするなどと言って金銭をだましとろうとするものです。メールで寄せられることもあります。全く身に覚えのない請求であれば、記載された連絡先に連絡をしないで無視しましょう。このような文書が届いた場合、直接事業者に連絡せず、すぐに産業振興課水産・商工グループ窓口にお問い合わせしましょう。

臨時福祉給付金等の受付開始

■問合せ
健康福祉課福祉・
高齢者グループ
☎74-3001

「臨時福祉給付金」及び「子育て世帯臨時特例給付金」の申請受付を開始いたしました。

7月28日から10月28日までの3カ月間、「臨時福祉給付金」及び「子育て世帯臨時特例給付金」の申請を受け付けています。該当する方は、期間内に申請を済ませるようお願いいたします。

無料法律相談会開催

■問合せ
住民課住民・戸籍
年金グループ
☎74-3002

金銭、相続、夫婦間、交通事故、消費者問題のトラブルなどの相談に応じます。

必ず2日前の17時までに担当課へ事前予約してください

△虹田地区▽

■日時 8月21日(木) 13時30分～15時まで

■場所 虹田ふれ合いセンター

■担当 奈良泰哉弁護士(奈良法律事務所)

△洞爺地区▽

■日時 9月4日(木) 13時30分～15時まで

■場所 洞爺総合センター

■担当 増川 拓弁護士(北海道みらい法律事務所)

行政に関わるくらしの無料相談会開催

■問合せ
住民課住民・戸籍
年金グループ
☎74-3002

相続手続き、遺言書の作成や、契約手続き、また官公署に提出する書類の作成などの相談に応じます。相談事のある方は、事前予約してください。

■日時 8月16日(土) 9時30分～12時

■場所 洞爺総合センター小会議室

■申込先 北海道行政書士会室 蘭支部 (☎76-3538 担当後藤)

■主催 北海道行政書士会室 蘭支部 (☎74-3002)





行政への意見・要望・質問 地域からの声

■問合せ 住民課住民・戸籍年金グループ ☎74-3002

地域担当職員は、毎月1回の自治会長訪問等により、自治会と行政の連絡・調整を進めています。

平成26年度第一四半期（4月～6月）間にいただいた、自治会からの主要望や意見の内容をお知らせします。

件数が多いため、区分件数と一部内容のみ掲載します。

<青葉2区自治会>

- 意見要望 国などに将来的に必ずある噴火災害に備えて噴火災害区域指定による補助、助成を活用した準備が必要ではないか？
- 町回答 噴火災害に限ったものではないが、すでに各種防災・減災に関連した事業（助成・交付金等）の活用を行っており、今年度も福祉避難所、避難所備品、案内看板の整備、防災行政無線のデジタル化事業を予定しています。

<複数自治会>

- 意見要望
 - ①地域に集会所がないので建設をお願いできないか？
 - ②町道各路線のセンターラインを引き直してほしい。
 - ③町道洞爺湖温泉大通り線においてトラックが走行すると振動が発生するので、対応をお願いしたい。
- 町回答
 - ①町としては、現在のところ新規に集会所を建設する考えはありません。既存の集会施設を有効に活用していただきたいと考えています。
 - ②6月末までに実施済みです。
 - ③トラック協会等に法定速度遵守の依頼と、陥没箇所の補修を実施します。

★ 要 望 件 数 ★

生活環境に関する要望	12	行政に関する要望	3
道路・河川に関する要望	17	防災・災害に関する要望	3
除雪に関する要望	1	集会施設に関する要望	1
産業に関する要望	0	交通施設に関する要望	1
自治会に関する要望	1	行政施設に関する要望	2
公営住宅に関する要望	2	その他要望	2
合 計		45	

地域担当職員制度って？

地域担当職員制度とは、毎月1回の自治会長訪問等により、自治会と行政の連絡・調整を進めており、1地域3名～5名の職員を配置しています。

基本的な業務内容は、①自治会・地区住民からの行政に対する要望意見等の窓口②情報等の提供③自治会主催の会議等への出席④自治会活動、自治会課題等に対する行政的立場からの助言及び支援などとなっています。



調印後握手を交わす真屋町長と川南支部長

災害発生時の資機材や生活物資などの輸送体制を確保しようと洞爺湖町と

室蘭地区トラック協会伊達支部（川南龍彦支部長）が協定書を結び、その調印式が7月18日洞爺湖町役場で行われました。

協定書では、町の要請があった場合、他に優先して輸送業務に協力することが謳われ、これにより迅速で的確な救援・救助のための輸送が可能となりました。

調印式では、真屋町長が「災害の多い地域と呼ばれている中で、本当に心強く思っています」と協定の意義を話し、川南支部長は「災害時に地域住民の安全に寄与していきたい」と社会的使命について述べました。

災害時の輸送体制を確保 町が室蘭地区トラック協会と協定

縄文人の暮らしを体験 第6回縄文まつり

第6回縄文まつり（同実行委員会主催）が、7月21日、入江貝塚公園で開催され、火おこし、飾り炭づくりなどの縄文体験や縄文デザインコンテスト、宝探しなどの多様なアトラクションで楽しい1日を過ごしました。

グループ弥生時代による太鼓と笛の演奏に続き、たいまつによる点火パフォーマンスでオープニング。

火おこしコーナーでは、子どもや大人たちが、なかなかおきない火に悪戦苦闘しながら、果敢に挑戦していました。



神馬会長の挨拶の後雄たけびを上げる参加者ら

昼食時には、恒例の縄文鍋が振舞われ、好評を博していました。

「交差汚染」が予防のカギ 食中毒予防講演会

食中毒が多く発生する時期を迎え、健康福祉センターさわやかで、7月22日「食中毒を予防するために」と題する講演会が開かれました。

福祉施設やホテル、飲食店の関係者64人が参加し、具体的に食中毒予防策について学びました。

講師は、室蘭保健所管理栄養士の熊野香奈さん。

講演では、食中毒の多くが「施設・設備、器具や従事者などを介した『交差汚染』が主要な原因である」ことを明らかにし、今までの指導体験から、施設でよく見られる光



熱心に講演を聞く参加者

景を例にとり、その改善策を提起しました。



開拓碑の前で記念写真に臨むとうや小の児童と三豊市の児童ら

相 交流を行っている友好都市三豊市の小学生が、7月25日から

28日まで3泊4日の日程で来町しました。

訪れたのは、「ふるさと・ふれあい・フレンドリーツアー」の児童25人。

とうや小学校の生徒の交流をはじめ、開拓記念碑の「拓土創始之碑」や洞爺湖ビジターセンター、洞爺湖芸術館などを見学。そばづくりやじゃがいも掘りなども体験し、洞爺湖町での短い生活を満喫しました。

26日には、洞爺夏まつりに参加し、雨の中練り歩く太鼓台などを見学。改めて自分たちの故郷との関係の深さを感じていました。

三豊市の小学生来町 地元小学生と交流深める



胆振西部の小中学生野球チーム 元日ハム投手金村さんがヘッドコーチに

胆振西部の小、中学生の2野球チームのヘッドコーチに就任した北海道日本ハムファイターズの元投手で、野球評論家の金村暁さんが、7月4日役場を訪れ、真屋町長に就任の挨拶を行いました。

就任したのは、洞爺湖町、壮瞥町、伊達市の小学生合同チーム「洞爺湖ブラッキーズ」と中体連後引退した西胆振の中学3年生が対象の「KB胆振ベースボールクラブ」。

少子化の影響で少年野球チームや部活動の休止が続く中で、関係者が金村さんに依頼し、快諾を得ました。金村さんは「まずは基本をしっかり指導し、将来日ハムで活躍する選手を育てたい」と決意を語りました。



チーム関係者と握手を交わす金村暁さん（中央）

7月5日、平成26年度馬頭観世音慰霊祭（同観世音碑保存協賛会



愛馬を偲び焼香する参加者ら

主催)が、大磯と歴史公園内の馬頭観世音碑前で行われました。

同公園内で催された式典には、保存協賛会の会員や元馬主、農協関係者ら約30人が参列。亮昌寺の笠谷僧侶による読経の中で、一人ひとりが焼香を行い、活躍してくれた愛馬の往年を偲びました。今年は、官営牧場の開設（1804年）から210年の節目に当たることから、最後に参加者全員で記念撮影に臨み式典を終了。

引続き、同協賛会の総会と懇親会が行われ、会員相互の交流を深めました。

愛馬の往年を偲ぶ 平成26年度馬頭観世音慰霊祭

洞爺高校ととうや小学校との交流授業が、7月7日洞爺高校で行われ、同校2年生



いっしょに楽しくエコバックを作るとうや小の児童と洞爺高校生

23人が先生役となり、とうや小5、6年生23人を指導し、新聞紙を利用したエコバックを作り上げました。

異世代の交流を目的に、平成24年から、お菓子作りやミシンを使ってのエプロン作りを実施してきました。

今回は、13時20分～14時5分までの授業時間を使い、洞爺高校生が、マンツーマンで丁寧に指導し、縦約20センチ×横約30センチのエコバックを全員が時間内に完成させました。

異世代の交流 仲良くエコバックを完成

急増する中国人旅行者に対応 中国語講座開催

洞爺湖町と洞爺湖日本中国友好協会（長崎良夫会長）が共催で、7月14日洞爺湖観光情報センターで、中国講座を初めて開催しました。

急増する中国人旅行者らに、おもてなしの心で対応しようと開かれたもので、講座には、ホテルや飲食店の関係者約20人が参加しました。

講師は、洞爺湖温泉観光協会の李慧敏さんと洞爺山水ホテル和風の劉松さん。

中国語のクイズの後、「こんにちは」「いらっしゃいませ」などの簡単な接客用の会話を、講師の二人に続いて繰り返し唱和し、基礎的な中国語を学びました。



中国語の挨拶などを習う講座参加者ら

まちのわだい



	優良（30分）	一般（60分）	違反（120分）	初回（120分）
9月	9日(火)18:30~/19日(金)13:30~	9日(火)19:30~	3日(火)18:30~	19日(金)14:30~

①慌てずにハザードランプを点け、車を道路の左側に止めてください。
②ラジオなどで地震情報、道路情報などを確認して行動してください。

防災意識の高揚
備えて安心 我が家の防災
災害は、いつ、どこで、どのように起こるかわかりません。突然やってくる災害から身を守るため、普段から災害に対する備えをすることが大切です。そのため、①家族がバラバラになったときに集まる場所や連絡の方法②市町村が指定している避難場所③災害時に持ち出す大切なものなどを家族全員で確認しておきましょう。
車を運転中に大きな地震に遭ったときには、次のことを守ってください。

伊達警察署から
☎22-01110

暮らし



お知らせ



③車は、できるだけ道路以外の場所に移動して駐車してください。

④やむを得ず道路に車を放置するときは、道路の左側に寄せ、エンジンを止め、窓を閉め、エンジンキーを付けたままにして、ドアロックはしないでください。
⑤通行止めなどの交通規制が行われているときは、警察官や道路管理者の指示に従って行動してください。

物忘れなんでも相談室

認知症の早期発見・早期対応を目的に、認知症に関する相談に応じます。
「おやおや？」と家族などが思われている段階での対応が大事です。

日時 8月21日(木) 10時30分~15時
場所 ウロコ蛇田店 休憩スペース

問合せ 居宅介護支援事業ふるさとの丘(担当山崎・☎76-1305)

愛ランドセル事業の実施

社会福祉協議会(協同募金委員会)では、地域歳末たすけあい運動の助成事業とイオン北海道の協力で、来年4月に小学校入学を控えている家庭に、ランドセルをプレゼントする「愛・ランドセル事業」を実施します。11月頃に対象世帯へ申請書を配布する予定にしています。
ランドセルの色は、男子が黒系、女子は赤系。
詳しくは、社会福祉協議会(☎76-4363)へ。

募集

自衛官募集

◆防衛医科大学校(看護学科)学生(自衛官コース)
資格 21歳未満(平成27年4月1日現在高卒(見込含む))
受付期間 9月5日~30日

心からおくやみ申しあげます



故佐藤由美子さん
■6月11日死去
■68歳 ■遺族は務さん ■温8区



故矢野貞信さん
■6月10日死去
■88歳 ■遺族は春子さん ■大原



故服部シズ子さん
■6月9日死去
■100歳 ■遺族は義章さん ■入1区



故亀田ナカ子さん
■6月9日死去
■95歳 ■遺族は柴田良治さん ■温8区



故鈴木弘さん
■6月3日死去
■81歳 ■遺族は聡さん ■虻1区



故山平徳次郎さん
■6月3日死去
■91歳 ■遺族はミツさん ■虻1区



故三河千俊さん
■6月29日死去
■82歳 ■遺族は玲子さん ■虻3区



故鈴木ヨシ子さん
■6月28日死去
■74歳 ■遺族は博雄さん ■泉区



故久保徳雄さん
■6月26日死去
■91歳 ■遺族はハスエさん ■花和



故大西勝美さん
■6月21日死去
■80歳 ■遺族は和子さん ■入1区



故武川正之さん
■6月21日死去
■103歳 ■遺族は信之さん ■虻5区



故棟方幹夫さん
■6月12日死去
■88歳 ■遺族はハツエさん ■虻6区

	優良 (30分)	一般 (60分)	違反 (120分)	初回 (120分)
8月	28日(木)13:30~	28日(木)14:30~	18日(月)14:30~	13日(水)18:30~

大人の風しん抗体検査費用を助成します


北海道では、妊娠を希望する出産経験のない女性等を対象に風しん抗体検査料を助成します。

■助成内容
一旦協力医療機関に支払った後、風しん抗体検査料を助成します。

■助成金額
検査方法によって変わります。
EIA法6,690円/HI法5,250円どちらかの検査方法により1回のみを限度として助成します。

■実施期間
平成26年6月24日~平成27年3月31日

■問合せ
北海道室蘭保健所 (☎0143-24-9846)



▲一般前期▽
資格 21歳未満(平成27)

▲一般後期▽
資格 21歳未満(平成27)

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

▲試験期日
9月5日~9日
第1次試験 9月27日

はつらつパパママの
子育てセミナー

催し

問い合わせ 防衛省自衛隊札幌協力本部 地方地域事務所(☎0143-44-9533) / 役場総務課(☎76-3000)

問い合わせ 防衛省自衛隊札幌協力本部 地方地域事務所(☎0143-44-9533) / 役場総務課(☎76-3000)

問い合わせ 防衛省自衛隊札幌協力本部 地方地域事務所(☎0143-44-9533) / 役場総務課(☎76-3000)

問い合わせ 防衛省自衛隊札幌協力本部 地方地域事務所(☎0143-44-9533) / 役場総務課(☎76-3000)

問い合わせ 防衛省自衛隊札幌協力本部 地方地域事務所(☎0143-44-9533) / 役場総務課(☎76-3000)

高齢者の体力づくりのための教室です。全4回のシリーズで開催されます。身体について学んだり、スポーツを楽しみます。

■日時 9月12日(金) 13時~16時30分

■場所 あぶた体育館

■内容 ①DVD視聴と講話
②ウォーミングアップ、リズム体操など
③ノルディックウォーキング

ニューエルダー
元氣塾第1回

76-2008

申し込み 子育て支援センター(8月22日まで・☎)

内容 ・日常生活における薬の使い方について
講師 山田達生さん(洞爺協会病院薬剤師)

場所 健康福祉センターさわやか

日時 8月29日(金) 10時10分~11時30分

0歳(3カ月以上)~3歳(未就園児)までの子どもを持つ保護者・妊婦を対象に子育てについて学びます。

子ども達の学力向上に向けて、小、中学校の先生方が話し合いを行います。傍聴してみませんか。

■日時 8月28日(木) 17時30分

■場所 役場302会議室

■申込み 教育委員会管理課(☎74-3009)

第2回スタンダード10
研修委員会を傍聴しませんか

9時~18時

9月9日~10月5日

志田弘子「友禅染絵」は、友禅染の技術を絵画で表現することに成功した独特の絵です。

9月9日~10月5日

教育委員会社会教育課(☎74-3010)



お詫びと訂正
①6月号のp3の厚生労働大臣特別表彰で、小弾生紀江子さんの名前が間違っていました。正しくは、小弾正紀江子さんです。
②7月号のp11の社会福協議会への寄付で、「岡田光弘さん(入4区)は5万円」の金額が間違っていました。正しくは、50万円です。
以上お詫びして訂正いたします。

お詫びと訂正

お詫びと訂正

お詫びと訂正

お詫びと訂正

お詫びと訂正

お詫びと訂正



寄付

読書の家から



新刊案内

■あぶた読書の家

あぶた読書の家では、読書活動の推進と今後の読書の家の運営の参考にするため、本の貸出し数と閉館時間の延長を行います。1回の貸出し数は、現在1人3冊までですが、5冊まで可能



とします。開館時間についても毎週月曜日のみ午前10時〜午後6時までとし、1時間30分延長します。試行期間は、9月30日までです。

読書は、脳の活性化と共に記憶力や集中力を上げるところから脳の老化を防ぐ効果があると言われています。

一方子どもの本との出会いは、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにします。

家庭や地域で、読書を促進する活動を進めていきましょう。

■みずうみ読書の家

△一般▽芙蓉の人(新田次郎)▽身体巡礼(養老猛)▽決断(小杉健治)▽アンのゆりかご

今月の1冊

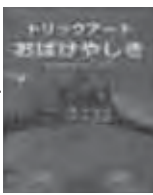


トリックアート アドベンチャー

監修 北岡明佳

構成・文 グループ・コロンプス

「トリックアート図鑑」シリーズに、新シリーズ「トリックアートアドベンチャー」が登場! 絵を見ながら視覚の不思議を楽しみ、さらに、見つけあそびもできるような仕掛けがいっぱい! 小さなお子さまから遊べる、楽しいトリックアート絵本です。



(村岡恵理)▽帰らずの海(馳)

星周)▽遺文/安南から刺客(佐

伯泰英)▽ローマ 1・2(塩野

七生)▽我が家の問題(奥田英

朗)▽天の光(葉室麟)▽謎とき

ガルシア・マルクス(木村栄一)

ピノキオ読み聞かせの会

■日時 9月10日 午後2時

30分

■場所 あぶた読書の家



●開館時間

午前10時より午後4時20分まで

(月曜日のみ午前10時より午後

6時まで)

●8月休館日

14日・21日・28日・9月4日

(毎週木曜日・祝祭日休館)

あぶた読書の家 ☎76・2100

みずうみ読書の家 ☎75・4702

わたしのうた

短歌

【あぶた短歌会】

七月定例会

野辺の里広き田畑にしたしみて

みどりまぶしむわがはつ夏よ

大西 芳子

時折に吹きける風に花そよぐ

静まりかへりし午后の陽の中

北島 加代

ほんのりとあかりがともるごとくにも

咲きたる花に亡母のしのぼる

山木 孝

荒れはてた庭にひっそりバラの花も

季節を忘れずつぎつぎと咲く

太田 智

バラの花愛しさが陰のあぶら虫

こそげ啄む雀の親子

元田 フジ子

俳句

【あぶた俳句会】

七月定例会

ミニトマト朝餉にどきと笑ってる

せせらぎの光りとながれ夏柳

空映す余地なき青田伊達郡

野の花を忙しく訪ね夏の蝶

海青し日に透かしてもぐハスカップ

三瓶 修

小笠原 勇

矢野 知子

那須 伶子

菅原 敏子



さわやかだより

健康福祉センターさわやか ☎76-4006

講座参加者の声



洞爺湖町食生活改善推進員
鈴木敏明さん

「養成講座を受講して、食に対する関心度が高くなりました。男性料理講習会への参加など、一人になった時にも困らない様、料理を身につけ覚えておくことも大事ではないかと思っています」

「糖尿病と診断されてから7年、自分なりに食生活を努力しているつもりでしたが、あまり変化はありませんでした。体質改善ができればと願いながら推進員として携わっていきたいと思っています」



洞爺湖町食生活改善推進員
三河千枝子さん

食生活改善推進員養成講座を受講しませんか

楽しみながら身につける
食生活の知恵

お いしくバランスのとれた食事は健康づくりの基本です。

この講座では、食生活に加えて健康づくりのことや家族、環境のことなどを講義だけでなく調理実習や参加される方同士の情報交換などで楽しく考えることができます。

性別、年齢問わずどなたでも

受講できますので、ぜひ、この機会にご友人同士お誘い合わせのうえお申し込みください。

昨年、洞爺湖町・洞爺地区それぞれ1回ずつ開催し、15名の方が受講されました。講座を修了した方達は、洞爺地区のヘルスマイトの会または虻田地区の食生活改善推進員協議会に所属し、親子食育料理教室や男性の料理教室を開催するなどのボランティア活動を行っています。

回	日程	内 容
1	9月12日 (金)	午前 開講式 ・オリエンテーション ・なるほど!? 栄養の基本 ・食品衛生～知って得情報 午後 講義 ・食事で健康に～パート1～ ・みんなが元気なまち“洞爺湖町”を目指して
2	9月26日 (金)	午前 講義 ・食事で健康に～パート2～ 調理実習 ～調理してみよう～ 午後 講義 ・自分の食生活を振り返ろう!
3	10月10日 (金)	午前 講義 ・食生活プランの立て方① ～献立を作ってみよう～ 午後 講義 ・自分の活動量の見直し ・あなたのまわりの食環境を知ろう!
4	10月24日 (金)	午前 調理実習 ・食生活プランの立て方② ～実際に調理してみよう～ 午後 講義 ・食事で健康に～パート3～
5	11月7日 (金)	午前 講義 ・食事で健康に～パート4～ 午後 講義 ・年齢に合った食事を考えよう!
6	11月21日 (金)	午前 調理実習 ・実際に調理してみよう 午後 講義 ・食生活改善推進員の役割を知ろう! 修了式 ・座談会(受講を終えて)

食生活改善推進員養成講座

■期間

平成26年9月～26年11月までの6回コース
(原則、全日程参加できる方)

■時間

10:00～15:00
(12:00～13:00まで休憩)

■場所

洞爺湖町健康福祉センター

■受講料

- ・テキスト代、食品成分表代として1800円程度
- ・調理実習材料費(3回分)



◆申込み締切り 9月1日(月) ■問合せ 健康福祉センターさわやか ☎76-4006・FAX76-1877

北海道防災情報システム

北海道では、気象情報（気象警報・地震情報・津波情報・火山情報）などを携帯電話メールアドレスに送信するサービスを行っています。

事前にメールアドレスを登録しておくことで、外出先などでも関連情報をいち早く入手することが可能になります。

■登録方法

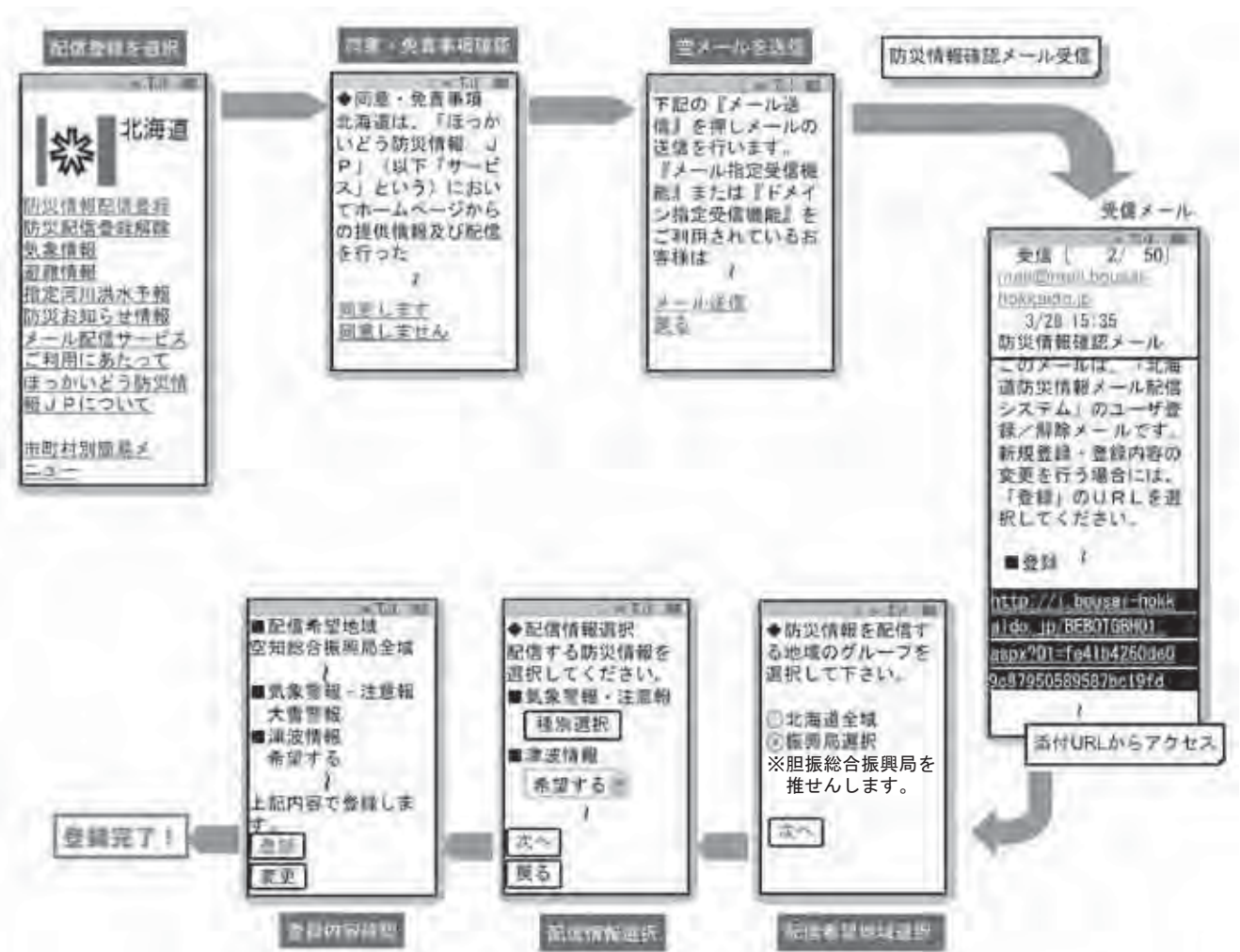
登録は、携帯電話から右上の＜携帯電話URL＞にアクセスしてください。

配信登録

登録はこちら



<http://i.bousai-hokkaido.jp/>



メール配信される情報

◆地域・情報を選択することができます。

- 気象情報…暴風雪警報・大雨警報・洪水警報・暴風警報・大雪警報・波浪警報・高潮警報
- 気象注意報…大雨注意報・洪水注意報・強風注意報・風雪注意報・大雪注意報・波浪注意報・高潮注意報・雷注意報・融雪注意報・濃霧注意報・乾燥注意報

- 火山情報（警報・予報）…平常・火口周辺規制・入山規制・避難準備・避難
- 地震情報…震度1以上～震度7
- 避難情報…避難準備・避難勧告・避難指示
- ※配信希望（選択）…津波情報・土砂災害警報情報・竜巻注意情報・指定河川洪水予報・河川情報・記録的短時間大雨情報など



消防だより 119

9月9日は「救急の日」 救急講習会のお知らせ

「もしも、目の前で人が倒れたら、自分に何が出来るだろう？」心肺蘇生やAEDの使い方、怪我の手当てなど、初めての方でもわかりやすい講習内容となっております。大切な命を守るために、救急講習を受講して知識と技術を身につけましょう。

講習終了者には「修了証」を交付しています。また、以前に受講された方も救命技能を忘れることなく維持向上させるため、再受講をおすすめしています。

■日時 平成26年9月9日
(火) 18時～21時

■会場 西胆振消防組合洞爺湖支署

■定員 20名(無料) ※定員になり次第締切となります。

■申込先 ☎76・2119(担当 救急係)

■その他 各事業所、団体から

救急講習は常時受付
けております。

花火で遊ぶ時は 気をつけて



夏の夜の楽しみと言えば「花火」です。夏休みを迎えた子供たちにとっては楽しみな季節となりますが、遊び方や後片付けの方法を誤ると火災につながる恐れもあります。子供たちだけでの「花火」は避け、必ず大人が付き添うようにしてください。また、花火で遊ぶ際は、以下の項目に注意し、火災発生の防止を心がけてください。

- ①花火は広く安全な場所で行い、燃えやすいもののある場所では、遊んだりしない。
- ②遊び終わった花火は水バケツに浸してください。
- ③子供だけで花火をさせないでください。
- ④風の強い日は花火で遊ばせないでください。

※他に、着衣への着火や花火を分解して遊ぶなど危険が多く、大人がしっかりと監視して安全に遊ぶよう心がけてください。

みなさんの消火器は 大丈夫？

設置から時間が経過しているものや設置場所の環境により、腐食した消火器は破裂事故を起こ



こしやすくなっています。消火器本体の使用期限を過ぎている又は著しく腐食している場合は買い替えをおすすめします。お近くのホームセンターや消防設備業者へ問い合わせ願います。

また、病院や学校、工場などに設置している消火器についても、製造から10年を経過している消火器については、消火器本体の耐圧試験を行う必要があります。詳しくは最寄りの消防署か消防設備業者へ問い合わせ願います。

毎月15日は 防火の日

西胆振消防組合洞爺湖支署では、毎月15日を「防火の日」として、正午に防火サイレンを吹鳴しております。また、消防サイレンは災害発生時の消防職団員の招集や地域住民への災害発生を周知する手段としても使用されることから、毎月1回の試験吹鳴と併せて実施しております。

災害発生時以外での消防サイレン吹鳴は、付近住民の方にご迷惑となると思いますが、趣旨をご理解の上、ご協力願います。

西胆振消防組合ではホームページを開設しています

各種試験案内・講習会のお知らせ、住宅用火災警報器設置や消防器点検内容、各種届出・申請様式(ダウンロードできます)などが掲載されています。

今後、利用者の利便性を考慮しながら内容を充実していきますので、ぜひご利用ください。

西胆振消防組合ホームページ
アドレス <http://www.6.ocn.ne.jp/~nfd119/index.html>

統一標語

「消すまでは
出ない行かない
離れない」



平成26年1月1日～
6月30日現在

- 火災件数 5件
- 救急件数 265件

永年勤続者表彰式で 5名が受賞

毎年行われている、西胆振心身障がい者職親会主催の永年勤続者表彰式並びに新規就職者をお祝いする会が、3月23日（日）、伊達ローヤルホテルにて開催されました。今回は、15年永年勤続表彰が、洞爺サンパレスに就職したH・Sさん。同10年表彰は、ホッコー建設運輸

（株）に就職したT・Sさん、D・Hさん、K・Tさん、K・Kさんの計5名が受賞しました。当日は、洞爺サンパレス、ホッコー建設運輸（株）からもお祝いを頂き、本人達も緊張と嬉しさが入り交ざった表情で式に参加していました。

表彰状の授与では、西胆振心身障がい者職親会会長より表彰状と記念品が一人ひとりに手渡されました。



永年勤続者表彰を受賞した皆さん

来賓の伊達市副町長様と北海道議会議員の先生の祝辞を頂き祝宴に入りました。T・Sさん、K・Kさん、D・Hさんの家族の方も参加され、他の受賞者の方にも、お祝いの言葉や激励の言葉なども掛けていただきました。アトラクションでは、恒例の聖龍太鼓一門伊達武者太鼓の皆さんの迫力ある演奏もあり、さらに宴を盛り上げてくれました。また、事

業主の方からもねぎらいの言葉や励ましの言葉を頂きました。

H・Sさんは、2000年噴火の時、仕事がなく自宅で待機するつらい日々が続いたこともありましたが、会社の方々に必要とされて、声をかけて頂き、再開することができました。

ホッコー建設運輸（株）の4名は、毎日、危険と隣合わせの仕事ですが、現場の運転手の方々にいつも見守られて安心して仕事ができています。社会と関わり、社会の一員として、充実した日々を送ることができているということが、本人にとって何より大切なのだと改めて思います。

最後に、両事業所の関係者の方々におかれましては、いつも障がい者雇用にご理解を頂き、長きに渡って雇用の継続をして頂いていることに感謝申し上げます。そして、本人達もまだまだがんばりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

（支援員 N・M）

「どうやこあんばん」

して作りまし。

5月18日に開催された洞爺湖マラソンで、参加者に配布する『あんばん』を約6,000個製造しました。地産地消ということで、あすなろで通常使用している道産小麦に洞爺湖産の小麦粉『きたもえ』を加えた生地で『あんばん』を提供しました。一度に6,000個のパンを製造した経験がなく、約1カ月前から製造計画を立て準備を開始しました。それぞれに担当作業を割り当て、自分の役割に責任を持ち、準備を進めました。

『あんばん』が出来あがり、配送のために大きなトラックに積み込みをしましたが、積み終わると量の多さへの驚きと安堵感、そして感動が一度にやってきました。

また、焼きたパンを潰れてしまわないように段ボールを工夫

当日はパンの販売で会場にいましたが、マラソンを終えた参加者が『あんばん』を手にしている姿を見ると、とても嬉しくなり、利用者と共に喜びをかみしめることができました。

また、機会がありましたら、もっと美味しいパンを提供したいと思いますので、日々、技術向上と利用者支援を行っていく中で、腕を磨いていきたいと思えます。（支援員 N・S）

また、機会がありましたら、もっと美味しいパンを提供したいと思いますので、日々、技術向上と利用者支援を行っていく中で、腕を磨いていきたいと思えます。（支援員 N・S）



洞爺湖マラソンで配布された『どうやこあんばん』



9 年ぶり2回目の個展を、6月16日から20日まで、役場ロビーで「いつぱい、いつぱい俺の道」と題して開きました。

自宅周辺の草花や野菜などを題材に、水彩色えんぴつを使って独特のタッチで描いた60点の作品を展示しました。

1996年に脳出血で倒れ、右半身まひと失語症の後遺症が

左手一本で描いた水彩画の個展を開く

三浦孝志さん (虻6区・67歳)

残る中で、絵と出会ったのは2000年の有珠山噴火。

避難所生活を余儀なくされ、不安定な気持ちを紛らすため、リハビリを兼ねて自ら筆を持つことになり、今では生活の多くの部分を占めるまでに至りました。

2005年6月に第1回の作品展を、描き上げた約150点中から80点ほど選び役場ロビーで展示しました。

現在では、障がいと闘いながら、週2回の製作活動を行い、作品は、500点ほどに増えました。

妻の優子さんは「絵との出会いが一生の宝となりました。これからもずっと続けていつてほしい」と話します。今回の作品展では、友人、知人が多く来場し、久しぶりの再会などもあり、また一つ「人との出会い」という宝物を手に入れました。

气象台からの防災メモ

室蘭地方气象台 ☎0143-22-3227

气象台は平成25年8月30日から「特別警報」の発表を開始しました。

「特別警報」とは、現在の警報発表基準をはるかに超える大雨や暴風、地震、津波、火山噴火等により、重大な災害の起こる危険性が著しく高まっていることをお知らせし、最大級の警戒を呼びかけるものです。

「特別警報」発表時は、数十年に一度しかない大雨や暴風等により、重大な危険が差し迫った異常事態です。直ちに地元市町村の避難指示・勧告等に従って、避難所へ避難するか、既に外出が危険な場合には、屋内の2階などより安全な場所への退避等、

身を守るために最善を尽くしてください。

また、重大な災害のおそれがある場合には、従来の「警報」を発表しますので、早め早めの防災対応が重要になります。

「特別警報」の詳細は、気象庁ホームページでご確認ください。



<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/tokubetsu-keiho/index.html>

広告

救急は、24時間対応しています。

洞爺協会病院 ☎74-2555

今回のジオパーク通信では、爆発70周年を迎えた昭和山についてご紹介します。

1943（昭和18）年の冬、洞爺湖温泉で地震が起こりはじめました。震源は少しずつ移動していき、壮瞥の東九萬坪地区の畑で、1944（昭和19）年6月に最初の大爆発が起こります。

この年の7月には火口から火砕サージが発生し、洞爺湖に流れ込みました。火砕サージに巻き込まれた湖畔の原生林や家屋は、なぎ倒されたり、幹や葉が焼けたりして枯れてしまいました。

現在、湖畔でみられる植林されたトドマツ並木は、この時被害にあった原生林のあとに植えられたものです。



昭和山

もともと平らだった麦畑は、十数回の爆発をくり返し、隆起を続けましたが、最初の爆発から約1年で成長が止まり、407mの昭和山となりました。

最初の爆発から、今年でちょうど70年。昭和山は温度の低下とともに標高が低くなり、現在は398mになりましたが、「変動する大地」の魅力を物語る見どころのひとつとして、今も多くの人を惹きつけています。



火砕サージのあとに植えられた湖畔のトドマツ並木

催し案内

『箱根ジオパーク&洞爺湖有珠山ジオパーク紹介展』 開催中！

温泉、湖、ロープウェイ、活火山…と、洞爺湖有珠山地域と共通点の多い、神奈川県箱根町。金太郎のゆかりの地「金時山」や「芦ノ湖」「大涌谷」などの火山由来の見どころの他、東海道きっての難所として知られた箱根山中に設けられた「箱根関所」など、歴史的見どころも多い地域で、2012年に近隣の小田原市、真鶴町、湯河原町とともに「箱根ジオパーク」となりました。

今年、箱根町と洞爺湖町が姉妹都市提携50周年を迎えることから、洞爺湖町主催の特別展が開催されています。ぜひご来場ください。



芦ノ湖から見える富士山。洞爺湖から見える羊蹄山にそっくり？

- ★開催期間 7月26日～10月15日まで
9：00～17：00
- ★開催場所 北海道洞爺湖サミット記念館
(洞爺湖観光情報センター3階)
入場無料

8月の健康・子育て・イベントカレンダー



日(曜)	行 事	時 間	場 所
14日(木)	仮装盆踊り大会	19:30~20:30	洞爺湖汽船本社前 (洞爺湖観光協会 ☎75-2446)
20日(水)	保育所開放	10:00~11:30	桜ヶ丘保育所 (☎75-2088)
	縄文特別講習会	13:00~14:00	入江高砂貝塚館 (あぶたフレナイの会76-5802)
22日(金)	洞爺地区健康相談	9:30~11:30	洞爺総合支所 (☎82-5111)
	親子ふれあい遊び	10:00~11:30	みんなの森(雨天時:健康福祉センター)
24日(日)	アイアンマン・ジャパン北海道	6:00~	洞爺湖周辺(事務局☎73-1085)
26日(火)	保育所開放	10:00~11:30	洞爺保育所 (☎82-5559)
27日(水)	げんきクラブ(洞爺地区)	13:30~15:30	洞爺ふれ愛センター (☎76-4006)
28日(木)	乳児健診	13:30~	健康福祉センター (☎76-4006)
29日(金)	洞爺地区健康相談	9:30~11:30	洞爺総合支所 (☎82-5111)
9月1日(月)	結核・肺がん検診(〜3日)		虻田地区
3日(水)	保育所開放	10:00~11:30	本町保育所 (☎76-2673)
4日(木)	フッ素塗布	13:00~	健康福祉センター (☎76-4006)
5日(金)	洞爺地区健康相談	9:30~11:30	洞爺総合支所 (☎82-5111)
	保育所開放	10:00~11:30	本町保育所 (☎76-2673)
7日(日)	洞スポマラソンソフトボール大会	9:00~19:00	虻小グラウンド(洞爺湖スポーツクラブ・☎76-4174)
	洞爺湖中島散策ウォーク	10:00~13:00	洞爺湖町歩こう会(鈴木☎75-4400)
10日(水)	げんきクラブ(虻田地区)	13:30~15:30	健康福祉センター (☎76-4006)
	保育所開放	10:00~11:30	入江保育所 (76-4317)

高橋竹山
With 小田朋美(ピアノ)
洞爺湖公演
9.6(土)
洞爺湖文化センター
会場13時30分
開演14時

■チケット
前売/1,500円
当日/2,000円
※小中学生無料
■チケット取扱い所
教育委員会・
洞爺総合支所・
洞爺湖温泉支所など

主 催/洞爺湖町芸術鑑賞会
運営実行委員会
(教育委員会 ☎74-3010)



福島 光騎くん
(こうき)

真之さん・志乃さん
5月17日生 虻3区



ご家族の深い愛情につつまれて誕生したプリンスとプリンセスのご紹介です。

ご家族は「早く大きくなーれ」と成長を楽しみにしていることでしょう。いろいろな可能性を秘めて、洞爺湖町に誕生した赤ちゃん。その純粋な瞳は何を見つめているのでしょうか？



佐藤明桜花ちゃん
(あおか)

政人さん・明子さん
5月14日生 青2区



蝦名 天斗くん
(たかと)

将さん・亜希子さん
5月31日生 洞第5



米田 陸人くん
(りくと)

功さん・誌穂美さん
5月22日生 入4区



赤川 慶笑ちゃん
(やえ)

欣胤さん・美佳さん
5月21日生 虻5区

洞爺柔道スポーツ少年団

代表 後藤 修さん 団員26人



洞 爺柔道スポーツ少年団は、当初平成12年頃から、洞爺高校の柔道部の練習に中学生らが徐々に参加するようになったことから、平成14年に、小学生まで対象にした現在の少年団を結成しました。

団の目的は、「勝負に勝つ」こ

とだけを主眼にした指導ではなく、礼儀作法の習得や心身の鍛錬に力を入れていて、講道館柔道の創始者嘉納治五郎の言葉である「精力善用」「自他共栄」の精神を受け継いでいます。

練習は、走りこみと準備運動の後、打ち込みと乱取りに取り組み、続いて各自が得意技のレベルアップに励みます。

練習日は、現在週2回、月曜日と木曜日の18時30分〜20時まで洞爺高校の体育館を基本に活動し、未就学児から中学生まで参加しています。

柔道歴も3歳から始めている子や1年足らずの子など様々な児童らがいて、厳しい中にも楽しい雰囲気を出しています。

柔道の楽しさを団員に聞くと「試合で相手を倒すのが楽しい」「練習した技がうまくかかるとうれしい」など元気に応えてくれました。

「柔道に興味がある」「児童や「精神や身体を鍛えさせたい」と思っている保護者の方は、代表の後藤修さん(☎090-7051-1007)まで連絡ください。

今月のワンショット

ビールも進むほろ酔いの夕べ

少年野球豊浦シーガルス全国大会へ

豊浦町と洞爺湖町の合同少年野球チーム「豊浦シーガルス」が、7月1日洞爺湖町役場を訪れ、真屋町長に、8月1日から福岡県久米市で始まる筑後川旗第31回西日本学童軟式野球大会に出場が決定したことを報告しました。

人口と世帯の動き 6月30日現在(先月比)

男	4,449人(△ 4)
女	5,160人(△ 8)
計	9,609人(△ 12)
世帯	5,106世帯(△ 1)